

水源郷 わくわく通信

第11号

平成30年3月15日に
「湯西川湖水面利用協議会」
を開催しました。

この水源郷わくわく通信は、
水源地域ビジョンの取り組みの
様子を、皆さまにお知らせする
ために発行するものです。

発行：平成30年4月2日

お問い合わせ先：国土交通省 関東地方整備局 鬼怒川ダム統管理事務所 調査課
宇都宮市平出工業団地14-3 電話：028-661-7764

水源地域ビジョンとは……

「水源地域ビジョン」は、ダム水源地域の自治体、住民等がダム事業者・管理者と共同で策定主体となり、下流の自治体・住民や関係行政機関に参加を呼びかけながら策定する水源地域活性化のための行動計画です。

湯西川湖での水面利用ルールが、一部変更になりました。

平成30年3月15日に「湯西川湖水面利用協議会」^(※1)において、「湯西川湖水面利用ルール」の一部が改定されました。前回（平成28年3月29日開催）の協議会で、湯西川漁業協同組合（以下、湯西川漁協）の燃料エンジンを使用する船舶^(※2)の導入が認められ、その後、水陸両用バス運行者と湯西川漁協との間で水面利用の調整が進められてきました。

その結果、両者でオクタボリ沢進入路とその地先の水面を共同利用していくことが調整され、湯西川湖水面利用協議会において進入路および水面を共同で利用しても安全性が確保できると判断され、水面利用ルールの一部改定が承認されました。



会議の風景

オクタボリ沢は、これまで水陸両用バスの運行期間（4月～12月）は、水陸両用バスに限っての利用でしたが、今後は漁業活動期間（4月～9月）中、湯西川漁協の船舶も利用できるようになります。

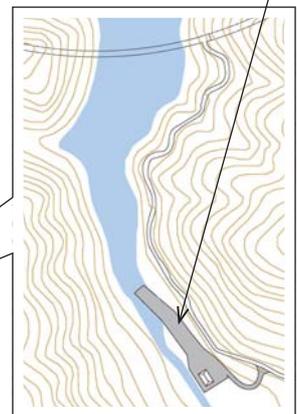
オクタボリ沢進入路は、右図に示すように湯西川湖の最も南側にあります。



オクタボリ沢進入路の利用状況



オクタボリ沢進入路



オクタボリ沢進入路の位置

※1湯西川湖水面利用協議会とは：湯西川湖周辺の自治会、漁業協同組合、温泉旅館組合、商店会、今市警察署、藤原消防署、日光市、栃木県、環境省、国土交通省などの関係機関による湯西川湖の水面利用調整を図る組織（平成27年3月設立）

※2燃料エンジンを使用する船舶とは：ガソリンなどの化石燃料でエンジンを動かし航行する船舶。

平成30年度の湯西川湖の利用予定をお知らせします

3月15日に開催した湯西川湖水面利用協議会では、水面利用ルールの一部改定の協議のほか、水陸両用バス導入協議会による水陸両用バスの水面利用予定と、湯西川漁業協同組合による水面利用（漁業活動）の予定も報告されましたので、お知らせいたします。

予定	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水陸両用バス	(4/13) (12/2)											
漁業活動	(4/8)					(9/19)						

五十里湖、川俣湖、八汐湖の水面利用について

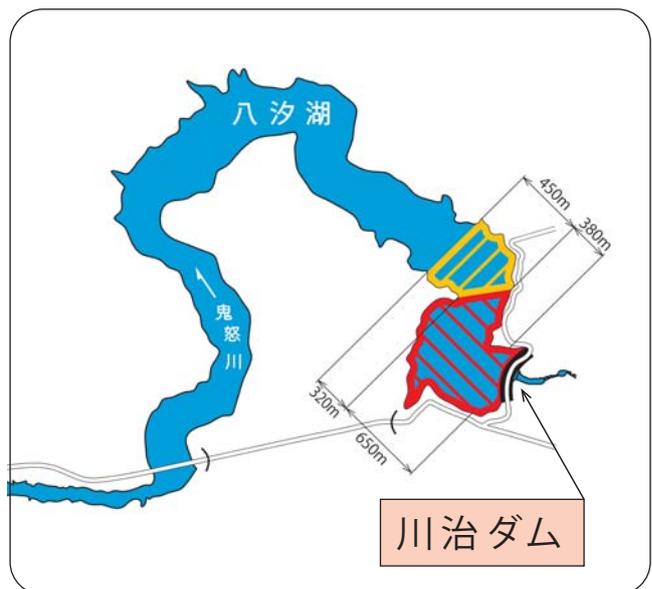
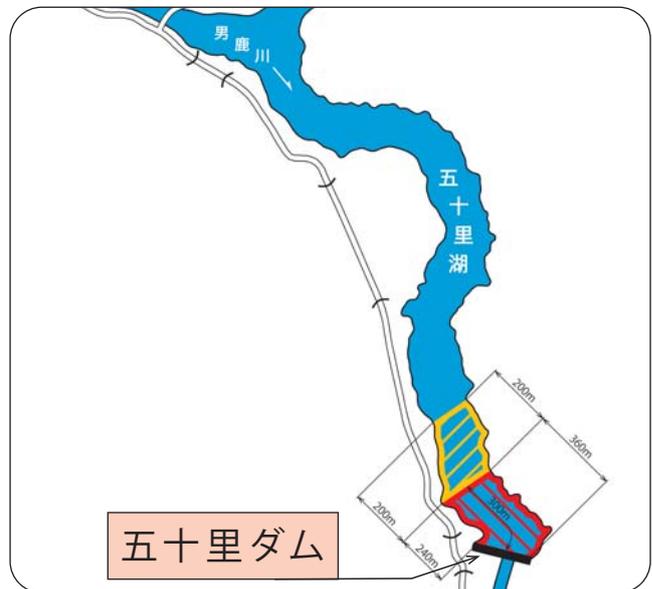
河川法に基づき、五十里湖・川俣湖は昭和50年より、八汐湖は昭和59年より、それぞれ下図のような通航方法が定められています。

これらのダム湖では、策定された通航条件を守っていただいておりますが、今後の水面利用の活発化や安全性を勘案し、湯西川湖水面利用ルールのようなきめ細かい水面利用ルールの検討も必要があるかと考えております。

そこで、皆さまのご意見をいただければと考えております。各ダム湖における水面利用について、ご意見やお気づきの点がありましたら、鬼怒川ダム統合管理事務所調査課あるいは各ダム管理支所までご連絡いただければ幸いです。

凡例

- <赤斜線の水域>  航行禁止
- <黄斜線の水域>  通航時間：「日の出から日没まで」
速度：「2ノット以下」



国土交通省では、現在公共施設を観光資源とらえたインフラツーリズムを全国的に推進しています。

(右記アドレス参照：<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/infratourism/index.html>)

鬼怒川上流ダム群でも、地域と連携してダムを活用し、地域のさらなる活性化の足がかりにしていきたいと考えています。